

学習指導案形式例【R6 体育・保健体育科】
 (群馬県教育委員会 健康体育課)

【単元(題材)の目標】
 ・学習指導要領で示された各教科等の内容を基に、**単元や題材を通して身に付けさせたい資質・能力**を記述する。

【評価規準】
 ・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にし、作成をする。その際、資料の「内容のまとめりごとの評価規準」をそのまま使用できない場合もあるため、実施する単元(題材)の内容と照らし合わせ、各観点の評価規準を吟味する。
 ・**中学校体育分野では、知識・技能を分けて記述する。**

【指導計画】
 ・(本単元(題材)の目標の達成につながる)「**単元の課題**」を解決するために必要な学習活動を明確にし、単位時間ごとに一文で簡潔に記述する。
 ・「つかむ」「追究(求)する」「まとめる」過程の区切りは実線、その中を細分化する場合は点線とする。
 ※別紙として示す場合は、資料として添付し、3タイトル横に「※別紙参照」と示す。

【例：〇〇の価値】 ※必要な場合に記載
 ・指導者の意図に基づき設定される単元について、児童生徒の資質・能力の育成とのつながりから、その特性や魅力・必要性等を、簡潔に記述する。
 ※「教科学習指導案例」参照

フォントサイズ・・・原則：10.5P、小：9.0Pまで

体育・保健体育科学習指導案

単元名(題材名)「〇〇〇〇〇〇 **【学習要領：A、〇学年、ア】**

令和〇年〇月〇日(〇) 第〇校時 〇〇〇〇教室
 〇〇立〇〇学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元(題材)の構想

1 単元(題材)の目標及び児童(生徒)の実態

	目 標	児童(生徒)の実態
知識及び技能		
思考力、判断力、表現力等		
学びに向かう力、人間性等		

<文型・文末例>

知及技 「～を身に付けることができるようにする。」
 思判表等 「～工夫し、～伝えることができるようにする。」
 学び等 「～ことができるようにする。」

2 評価規準

知識	①
技能	①
※保健体育科対応	②
思考・判断・表現	①
	②
主体的に学習に取り組む態度	①
	②

<文末例>

知・技、思判表「～している。」
 主体態「～しようとしている。」
 ※健康・安全については「～している。」

3 指導及び評価、ICT 活用の計画(全〇時間：本時第〇時) ※観点別に、評価規準の数字を記載

時	学習活動	評価機会			
		知	技	思	態
1	・～ 単元の課題 (あ) (a)				
2	・～ (い)				
3	・～				
4	・～				
5	・～ (あ) (b)				
6	・～				総括的評価

*活用する学習支援ソフト等：(あ) (い)
 *活用するコンテンツ等：(a) (b)

(4 例：〇〇の価値 ※教科等の特性に応じて設ける)

<例>
 「単元の価値」等

【学習指導要領】
 ・学習指導要領解説における領域や当該学年、内容等を記号で記述する。

【児童(生徒)の実態】
 ・前単元(題材)までの学習や系統性を踏まえ、**本単元(題材)の目標との関わり**から、実態を簡潔に記述する。
 ※原則、前単元、同系統、生活経験 等
 ・単純に「～ができない」といった否定的な記述は極力避け、児童生徒の実態を肯定的に捉え、「～については、理解している。」などのように、プラス面を記述する。

【評価の計画】
 ・単元(題材)の評価規準に照らし、各単位時間の評価の観点を、絞り込んで位置付ける。
 ・「知識を習得した上で、技能を身に付ける」や「知識や技能を活用して、思考力・判断力・表現力を身に付ける」など、**指導と評価の関連を図り、1単位時間の評価項目は1～2つにし、3観点の評価規準の数字をバランスよく配置する。**
 ・体育・保健体育科(運動領域)においては、毎時間の形成的評価の積み重ねの結果、単元の最後に、記録に残す「総括的評価」を行うことから、「**評定に用いる評価**」は設定しないこととする。
 いては「群馬県教育委員会『**指導と評価の一体化の充実に関する資料**』(各課発行・提供資料 義務教育課)」を参考にし、工夫して示す。

【活用する学習支援ソフト等】
 ・(平仮名文字)のあとに、学習をサポートするソフトウェア等を記述する。
 例：(あ)△△ボード、(い)テキスト□□□ 等

【活用するコンテンツ等】
 ・(片仮名文字)のあとに、参観者が後に参考とできるように学習で使用するWebのURL情報を記述する。
 例(a) <http://www.nc.gunma~~~~> 等
 ※(あ)(ア)などは、指導計画の中に位置付ける。

